

S 社会関連活動



サステナブルな社会基盤実現への貢献に向けて、太陽誘電では、社会(S)に関しても様々な課題の中からより重要なものをマテリアリティとして特定し、取り組みを推進しています。

人権

人権・労働方針

太陽誘電は、社会から信頼される企業を目指し、労働人権に関するあらゆる法規や、「国連世界人権宣言」「労働における基本的原則及び権利に関するILO宣言」「国連グローバル・コンパクト」「国連ビジネスと人権に関する指導原則」「RBA※行動規範」等の国際規範を支持し、尊重しています。

また、太陽誘電グループCSR憲章および行動規範を定めるとともに、人権の尊重および適正な労働の実行のため、労働人権マネジメントシステムを整備、運用しています。「労働人権マネジメント方針及び順守事項」に従い、各拠点でPDCA活動を通じて継続的改善を図っています。

その他にも、より具体的な手順を記載した詳細な「グループ労働人権マネジメントマニュアル」、労働時間についての「週60時間制限ならびに連続6日勤務制限に関する管理基準」などを制定し、全拠点においてモニタリングをしています。

※Responsible Business Alliance、責任ある企業同盟

人権、労働などに関するリスク評価としては、定期的にRBA行動規範をベースとした労働人権についての自己評価を行っており、フィードバックによる改善・是正活動を行っています。

人権と労働

<https://www.yuden.co.jp/jp/sustainability/society/laborrightrights/>



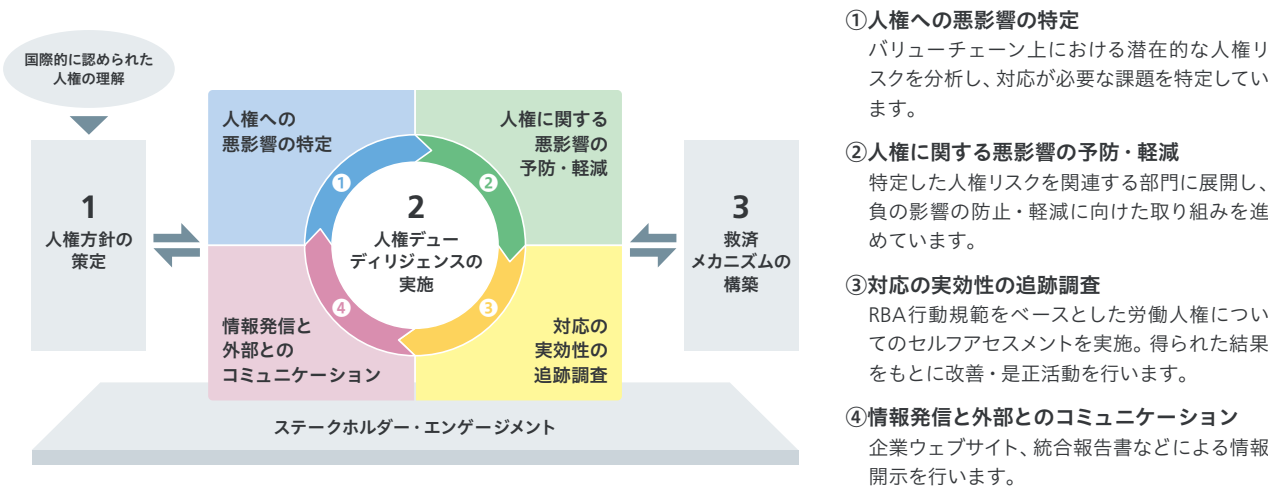
2024年度の取り組み例

- RBAの労働、労働マネジメントシステムをベースとした内部監査を、日本および海外の拠点において実施。指摘された不適合事項は、是正計画に基づいて改善されました。

ESG／社会関連活動

人権デューディリジェンス

太陽誘電は、人権方針の策定、人権デューディリジェンスの実施（人権への悪影響の特定・人権に関する悪影響の予防軽減・対応の実効性の追跡調査・情報発信と外部とのコミュニケーション）、救済メカニズムの構築に取り組んでいます。



資材調達活動

太陽誘電は資材調達に関する基本方針を定め、グループが調達する部品・材料・機械などの製品および技術・サービスなどの購入先様を含めたサプライチェーン全体でのCSR調達活動を推進しています。

新規購入先様へは、人権・労働・環境、安全衛生、公正取引・倫理、管理体制等の遵守事項を定めた太陽誘電グループ「CSR調達ガイドライン」への同意書を提出いただいた上で取引を開始しています。加えて、重要な新規購入先様へは

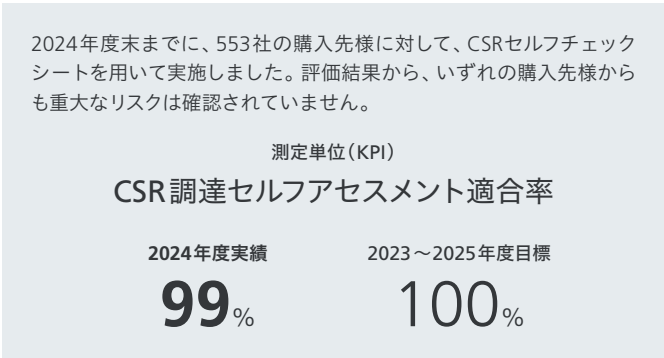
取引開始時に、既存の重要な購入先様へは定期的に、「CSRセルフチェックシート※」による評価を行い、当社基準を満たす購入先様と取引を行っています。この評価が低く高リスクと判断した購入先様にはCSR監査を定期的に実施しており、不適合が発見された場合、是正計画書の提出とその完了報告書を提出いただいています。

※CSRセルフチェックシートはRBA行動規範を基に作成。人権・労働、環境、安全衛生、公正取引・倫理、管理体制などを確認項目としています。

CSR調達ガイドラインの同意実績



CSR調達セルフアセスメント

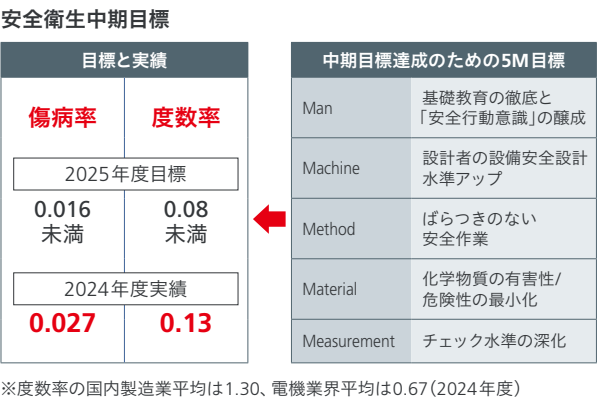


資材調達基本方針 <https://www.yuden.co.jp/jp/sustainability/society/procurement/>
責任ある鉱物調達 <https://www.yuden.co.jp/jp/sustainability/society/procurement/conflict/>

安全衛生

太陽誘電グループは安全衛生基本理念に基づき、従業員が安心して働ける職場を追求するための安全衛生活動を行っています。中期経営計画2025には、目標とする経営指標の中に安心・安全な職場に関する指標を社会価値の1つとして盛り込んでいます。中期目標の達成に向け、グループ全体で労働安全衛生中期計画を定め、5M（Man、Machine、Method、Material、Measurement）の視点で取り組みを推進しています。

2024年度については傷病率0.027、度数率0.13となりました。



※度数率の国内製造業平均は1.30、電機業界平均は0.67(2024年度)

VOICE

継続的な安全活動と短期集中的施策の2本柱の取り組みで、トップクラスの安全水準を実現しています

太陽誘電グループでは、労働安全衛生管理計画による網羅的な取り組みと、直近の課題への対策に焦点を当てた安全衛生重点施策を組み合わせた取り組みを行っています。労働安全衛生中期計画では、特徴的な施策として「安全衛生意識度調査」があります。毎年国内外の拠点従業員を対象に安全に関する調査を実施することで、従業員の安全意識を可視化・確認するとともに、調査結果から課題を抽出・対策することで、従業員一人一人の安全意識向上と職場安全風土醸成を図っています。太陽誘電グループの度数率は国内製造業平均のおよそ10分の1であり、このような地道な労災防止活動を継続してきたことがトップクラスの安全水準につながっていると考えています。

安全衛生重点施策では、年度ごとに労災の分析を行い、迅速かつ集中的に対策を実施することで、安全な職場づくりの更なる強化を行っています。直近では移動時の転倒災害を重点テーマとして設定し、徹底した転倒リスク対策を進めてきました。2024年度は、海外も含めた全拠点で実施した転倒リスクの見直し・追加対策に対し、安全衛生専門スタッフによる対策の有効性確認および専門的視点での改善指導を実施しました。

今後も労災ゼロを目指して更なる安全な職場づくりを行っていきます。



総務部 大和 雄斗

社会貢献

地域社会との共生を基本姿勢とし、ボランティア活動やチャリティーイベントの開催・参加、地域交流や工場見学など、社会貢献活動を実施しています。

2024年度の取り組み例	
■ 科学教室の実施	その他の取り組みはこちらをご参照ください。
太陽誘電グループの各拠点では、ものづくりの楽しさを知ってもらいイベントとして、小学生を対象とした科学教室を行っています。	社会貢献 https://www.yuden.co.jp/jp/company/sustainability/society/contribution/